

平成23年8月4日

上場取引所 東 大

上場会社名 アルフレッサ ホールディングス株式会社  
 コード番号 2784 URL <http://www.alfresa.com/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 石黒 傳六

問合せ先責任者 (役職名) 取締役常務執行役員 財務・広報IR担当 (氏名) 三宅 俊一

TEL 03-5219-5102

四半期報告書提出予定日 平成23年8月11日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

## 1. 平成24年3月期第1四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年6月30日)

## (1) 連結経営成績(累計)

(％表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	％
24年3月期第1四半期	573,016	8.3	1,407	△78.8	3,945	△56.0	1,831	△63.7
23年3月期第1四半期	529,039	4.3	6,634	335.3	8,966	132.7	5,047	232.7

(注) 包括利益 24年3月期第1四半期 2,541百万円 (△35.5%) 23年3月期第1四半期 3,942百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第1四半期	35.77	—
23年3月期第1四半期	100.21	—

## (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	％
24年3月期第1四半期	1,057,029	236,984	22.0
23年3月期	1,078,863	236,768	21.6

(参考) 自己資本 24年3月期第1四半期 232,824百万円 23年3月期 232,611百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	—	44.00	—	45.00	89.00
24年3月期	—	—	—	—	—
24年3月期(予想)	—	45.00	—	45.00	90.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

## 3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(％表示は、通期は対前期、第2四半期(累計)は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	％	円 銭
第2四半期(累計)	1,141,000	9.1	3,300	△71.8	7,200	△54.4	4,200	△49.5	82.00
通期	2,316,000	6.1	8,200	△12.0	16,000	△10.8	8,000	21.4	156.19

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無  
新規 ― 社 （社名） 、 除外 ― 社 （社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 ： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示  
① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 ： 無  
② ①以外の会計方針の変更 ： 無  
③ 会計上の見積りの変更 ： 無  
④ 修正再表示 ： 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	24年3月期1Q	51,972,563 株	23年3月期	51,972,563 株
② 期末自己株式数	24年3月期1Q	754,974 株	23年3月期	754,506 株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	24年3月期1Q	51,217,846 株	23年3月期1Q	50,369,763 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続きは終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1. 本資料に記載されている業績予想等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的と判断する一定の前提にもとづいており、実際の業績等は、今後の様々な要因によって大きく異なる結果となる可能性があります。
2. 業績予想に関する事項につきましては、[添付資料]3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報 .....	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報 .....	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報 .....	3
2. サマリー情報（その他）に関する事項 .....	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 .....	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	3
3. 四半期連結財務諸表 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益及び包括利益計算書 .....	6
(3) 継続企業の前提に関する注記 .....	8
(4) セグメント情報等 .....	8
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 .....	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災の影響による原子力災害や電力供給の制約並びに燃料高の影響による景気の下振れ懸念が残るなか、サプライチェーンの立て直しとともに生産活動が回復し始めました。

医療用医薬品卸売市場におきましては、4月以降も震災によりメーカーの一部製品に出荷調整の影響があったものの、生活習慣病関連薬や認知症治療薬が順調に推移したこと等により、市場は1.2%伸長（クレコンリサーチ&コンサルティング株式会社推定）いたしました。当社グループにおきましては、震災及び原子力発電所事故の影響を受けた営業拠点を内陸部に移すなど商品供給体制を整え、平常の営業活動を継続しており、原子力発電所事故の被災地区をはじめとしたお客様、患者様並びに従業員の生活等に影響がみられるものの、業績に与える影響は軽微でありました。当第1四半期連結累計期間は、前連結会計年度の売上総利益率の大幅な低下を踏まえ、売上総利益の確保に向けた取り組みを強化するとともに一層のローコストオペレーションを推進しております。さらに、アルフレッサ株式会社が平成24年5月の稼働に向けて愛知県一宮市に大型物流センターの着工を進めるとともに、本年5月には明洋株式会社がグループ基幹システムの共同利用を開始するなど、中期構想に沿った事業基盤の強化をはかっております。

このような状況のもと当第1四半期連結累計期間の業績は、昨年10月の丹平中田株式会社の連結子会社化が寄与したことなどにより、売上高は5,730億16百万円（前年同期比8.3%増）、営業利益は14億7百万円（前年同期比78.8%減）、経常利益は39億45百万円（前年同期比56.0%減）、四半期純利益は18億31百万円（前期同期比63.7%減）となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

#### 〔医薬品等卸売事業〕

医療用医薬品卸売事業におきましては、前連結会計年度における価格交渉の難航等に起因する販売価格低下の影響を考慮して、お客様と慎重な価格交渉を行うとともに、販売費及び一般管理費の一層の低減を行っております。また、医薬品の安定供給に関わるインフラ整備と事業継続計画の見直しを進めております。

セルフメディケーション卸売事業におきましては、物流拠点及び営業拠点の再構築による効率化を行い、本年10月の実施を予定として、シーエス薬品株式会社のセルフメディケーション卸売事業を会社分割し、丹平中田株式会社と事業統合するための準備を進めております。さらに本年5月には、丹平中田株式会社、株式会社モロオ（本社：札幌市中央区）並びに当社の3社間において、ドラッグストアをはじめとする量販事業分野での広域にわたるサービスの提供と物流体制の構築要請に対応するために、本年11月を予定として、丹平中田株式会社が株式会社モロオの一般用医薬品等卸売事業のうち量販事業を譲り受けする基本合意書の締結を行いました。

当第1四半期連結累計期間の業績は、売上高5,688億32百万円（前年同期比8.4%増）、営業利益11億41百万円（前年同期比81.9%減）となりました。なお、売上高にはセグメント間の内部売上高0百万円を含んでおります。

#### 〔医薬品等製造事業〕

平成22年9月に製造販売承継により移管されたうつ病・うつ状態治療剤／遺尿症治療剤『トフラニール®錠10mg、同錠25mg』や整形外科領域における体内固定用ケーブル『ネスブロンケーブルシステム』の販売が大幅に増加したこと等により、当第1四半期連結累計期間の業績は、売上高63億87百万円（前年同期比6.5%増）、営業利益1億円（前年同期比0.8%減）となりました。なお、売上高にはセグメント間の内部売上高22億2百万円（前年同期比20.9%増）を含んでおります。

## （２）連結財政状態に関する定性的情報

### 〔資産の部〕

当第１四半期末における総資産は、前連結会計年度末と比較して218億34百万円減少し、1兆570億29百万円となりました。流動資産は、前連結会計年度末と比較して249億65百万円減少し、8,746億20百万円となりました。これは主に、「受取手形及び売掛金」が132億66百万円増加した一方で、「現金及び預金」が260億64百万円、「商品及び製品」が65億33百万円、「有価証券」が60億1百万円それぞれ減少したことによるものであります。固定資産は31億31百万円増加して1,824億9百万円となりました。これは主に、投資有価証券の取得等により「投資有価証券」が30億41百万円増加したことによるものであります。

### 〔負債の部〕

当第１四半期末における総負債は、前連結会計年度末と比較して220億49百万円減少し、8,200億45百万円となりました。流動負債は前連結会計年度末と比較して219億3百万円減少し、7,883億89百万円となりました。これは主に、「支払手形及び買掛金」が216億66百万円、「未払法人税等」が46億49百万円、それぞれ減少したことによるものであります。固定負債は1億45百万円減少して316億55百万円となりました。

### 〔純資産の部〕

当第１四半期末における純資産は、前連結会計年度末と比較して2億15百万円増加し、2,369億84百万円となりました。これは主に、「利益剰余金」が配当金の支払等により4億72百万円減少したものの、保有投資有価証券の時価評価額の変動により「その他有価証券評価差額金」が6億74百万円増加したことによるものであります。この結果、自己資本比率は22.0％（前連結会計年度末は21.6％）となりました。

## （３）連結業績予想に関する定性的情報

連結業績予想につきましては、平成23年５月10日に公表いたしました業績予想に変更はありません。

## ２．サマリー情報（その他）に関する事項

### （１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

### （２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

### （３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

### （追加情報）

当第１四半期連結会計期間の期首以後に行われる会計上の変更及び過去の誤謬の訂正より、「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準」（企業会計基準第24号 平成21年12月４日）及び「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第24号 平成21年12月４日）を適用しております。

3. 四半期連結財務諸表  
(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成23年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	131,091	105,026
受取手形及び売掛金	550,216	563,483
有価証券	16,049	10,047
商品及び製品	126,356	119,823
仕掛品	523	479
原材料及び貯蔵品	1,383	1,504
未収入金	61,273	61,965
その他	13,573	12,967
貸倒引当金	△880	△677
流動資産合計	899,586	874,620
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	33,709	33,311
土地	51,618	51,273
その他（純額）	9,631	10,738
有形固定資産合計	94,959	95,323
無形固定資産		
のれん	2,800	2,508
その他	4,670	4,835
無形固定資産合計	7,470	7,344
投資その他の資産		
投資有価証券	52,615	55,656
その他	29,047	28,472
貸倒引当金	△4,815	△4,388
投資その他の資産合計	76,848	79,741
固定資産合計	179,277	182,409
資産合計	1,078,863	1,057,029

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年 3 月31日)	当第 1 四半期連結会計期間 (平成23年 6 月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	778,474	756,807
短期借入金	3,478	6,279
1年内償還予定の社債	60	60
未払法人税等	6,973	2,324
賞与引当金	5,746	7,402
その他	15,560	15,515
流動負債合計	810,293	788,389
固定負債		
長期借入金	3,445	3,169
退職給付引当金	14,823	14,949
その他	13,533	13,536
固定負債合計	31,801	31,655
負債合計	842,094	820,045
純資産の部		
株主資本		
資本金	18,454	18,454
資本剰余金	84,205	84,205
利益剰余金	122,978	122,505
自己株式	△847	△848
株主資本合計	224,791	224,316
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	13,584	14,258
繰延ヘッジ損益	0	0
土地再評価差額金	△5,724	△5,724
為替換算調整勘定	△39	△26
その他の包括利益累計額合計	7,820	8,507
少数株主持分	4,157	4,160
純資産合計	236,768	236,984
負債純資産合計	1,078,863	1,057,029

(2) 四半期連結損益及び包括利益計算書  
(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年6月30日)
売上高	529,039	573,016
売上原価	489,925	538,661
返品調整引当金戻入額	843	900
返品調整引当金繰入額	907	682
売上総利益	39,049	34,573
販売費及び一般管理費	32,415	33,166
営業利益	6,634	1,407
営業外収益		
受取利息及び配当金	611	770
受取情報料	1,246	1,356
その他	555	490
営業外収益合計	2,413	2,617
営業外費用		
支払利息	36	36
不動産賃貸費用	15	19
その他	29	23
営業外費用合計	81	79
経常利益	8,966	3,945
特別利益		
固定資産売却益	70	51
投資有価証券売却益	136	0
災害見舞金	—	159
収用補償金	110	—
抱合せ株式消滅差益	41	—
退職給付制度改定益	18	—
特別利益合計	377	211
特別損失		
固定資産売却損	—	1
固定資産除却損	22	14
減損損失	120	195
投資有価証券売却損	27	—
投資有価証券評価損	96	236
関係会社事業損失引当金繰入額	24	—
災害による損失	—	119
事業再編費用	—	31
事業構造改革費用	—	18
特別退職金	—	8
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	44	—
特別損失合計	335	625
税金等調整前四半期純利益	9,008	3,532
法人税、住民税及び事業税	5,093	2,183
法人税等調整額	△1,261	△504
法人税等合計	3,831	1,678
少数株主損益調整前四半期純利益	5,176	1,853
少数株主利益	129	21
四半期純利益	5,047	1,831



(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年6月30日)
少数株主利益	129	21
少数株主損益調整前四半期純利益	5,176	1,853
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△1,232	674
繰延ヘッジ損益	△4	△0
為替換算調整勘定	2	12
その他の包括利益合計	△1,234	687
四半期包括利益	3,942	2,541
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	3,814	2,519
少数株主に係る四半期包括利益	128	21

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) セグメント情報等

【セグメント情報】

I. 前第1四半期連結累計期間（自平成22年4月1日 至平成22年6月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	医薬品等 卸売事業	医薬品等 製造事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	524,864	4,175	529,039	—	529,039
セグメント間の内部売上高 又は振替高	0	1,821	1,821	△1,821	—
計	524,864	5,996	530,861	△1,821	529,039
セグメント利益	6,297	100	6,398	235	6,634

(注) 1. 調整額の内容は以下の通りであります。

セグメント利益

(単位：百万円)

利益	金額
セグメント間取引消去	2,089
全社費用※	△1,854
合計	235

※全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない本社の一般管理費であります。

2. セグメント利益は四半期連結財務諸表の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

Ⅱ．当第1四半期連結累計期間（自平成23年4月1日 至平成23年6月30日）

1．報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：百万円）

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	医薬品等 卸売事業	医薬品等 製造事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	568,832	4,184	573,016	—	573,016
セグメント間の内部売上高 又は振替高	0	2,202	2,203	△2,203	—
計	568,832	6,387	575,219	△2,203	573,016
セグメント利益	1,141	100	1,241	166	1,407

(注) 1．調整額の内容は以下の通りであります。

セグメント利益

（単位：百万円）

利益	金額
セグメント間取引消去	1,975
全社費用※	△1,808
合計	166

※全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない本社の一般管理費であります。

2．セグメント利益は四半期連結財務諸表の営業利益と調整を行っております。

2．報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。